

1.計画名称

茅野市下水道中期ビジョン(下水道事業特別会計)

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	下水道普及率及び接続率については、茅科の面整備や戸別訪問による接続依頼等により、97.2%、99.1%となっている。改築更新及び地震対策については、管口可とう化、布設替及び管更生により順次進めている。雨水対策は、主目標の小江川ポンプゲートが完成し、下町排水ポンプの増強を進めている。
今後の重点化施策番号	2	説明	巨大地震の発生確率が高まる中において、下水道施設の地震対策は早急に進めなければならない課題となっている。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	快適な暮らしの実現と持続	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅科汚水幹線整備事業による未普及区域の整備(L=0.32km)</li> <li>・管更生工事による管渠更新(L=0.31km)</li> <li>・未接続家屋臨戸訪問(訪問件数95件中13件未接続解消)</li> </ul>	<p>普及率、接続率に関しては目標値の大幅な増加などは見込めない。地道に個別訪問をし事業に理解をいただく必要がある。</p> <p>また、市街地の幹線については、管渠更生により施設の長寿命化を図っているが、市街地以外の管渠の状況把握及びストックマネジメント計画が必要である。</p>	<p>引き続き未接続家屋については臨戸訪問を継続していく。</p> <p>管渠の状況を把握するためのカメラ調査を進めるため、ストックマネジメント計画の改定更新を行い、市街地以外の下水道施設について計画策定を実施していく。</p>
2	安全で安心な暮らしの実現	やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合地震対策事業による管口可とう化工事をN=7箇所(耐震化延長L=0.90m)</li> <li>・浸水対策事業のポンプゲート完成と供用開始。</li> <li>・仮水廻し水路撤去工事を実施。但し、繰越事業。</li> </ul>	<p>5ヶ年計画の総合地震対策計画第1期を実施しているが、第2期計画策定を準備する必要がある。</p> <p>浸水対策事業については、流域治水関連法の改正に伴い、雨水計画の見直しをする必要がある。</p> <p>また、雨量増加に伴い下町排水ポンプ場の増設が必要である。</p>	<p>ストックマネジメント計画、総合地震対策計画を組合せ、各幹線の下流部から効率的に成果が表れるよう事業を実施する。</p> <p>浸水対策は、法改正に伴う計画降雨量の見直し、出水浸水想定区域の指定、雨水総合管理計画の策定を目指し利水の必要性と併せて検証していく。</p>
3	安定した経営の確保	おおむね順調	<p>一般会計からの繰入金逐年減少している中で、利用料金を維持しつつ財源確保を行う中で一定の利益を得ることができている。</p>	<p>下水道事業における一般会計からの繰入金については、安定した経営を行うためにも、計画的、または緩やかな減額を望む。</p>	<p>一般会計からの繰出金は大幅な減額となっているが、安定した経営を展開している。</p>
4					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		

5.添付資料

別紙「施策評価シート」